

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-215	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	論 I 104-904	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I		

## 1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者の生活に即した題材を用いて、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の言語活動を通じ、英語による**基礎的かつ実践的な発信技能**を習得させること、またそれによって、**論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーション**を図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の**生きる力**を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して**基本事項の定着**を重視するとともに、その基礎を活用して**論理的な英語表現の能力を伸ばす**ことが可能となるよう選定した。
3. 「書く」「話す」の**生産的2技能**を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の**受容的2技能**とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が**幅広い言語活動**に取り組むことができ、かつ**積極的に授業に参加**できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、積極的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展**に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

## 2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し Classroom English	<p>教室で用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第1号)</p> <p>相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p>	<p>前見返し I・II 後見返し IV・V</p> <p>写真全般</p>

<p>Part 1 Building a Basis for Logical Expression</p>	<p>英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</p> <p>自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>日本語と英語の表現形式の差異を通じて、双方の持つ言語的な文化への理解を深める。(第5号)</p> <p>コミュニケーション・ツールとしての英語の重要性を再認識させる。(第5号)</p> <p>日本と他国を比較することで、その文化などに対する理解や互いを尊重する態度を養う。(第5号)</p>	<p>5~86 ページ</p> <p>Express Yourself! (17,19 ページほか)</p> <p>Let's Use It! (20,21 ページほか)</p> <p>Express It Logically (42,43 ページほか)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>はじめに (6~13 ページ)</p> <p>59 ページ 1~4 行</p> <p>75 ページ 23~25 行</p>
<p>付表 Words &amp; Phrases</p>	<p>身の回りの事柄に関する語彙を増やし、さまざまな話題について英語で表現する能力を養う。(第1号)</p> <p>環境問題に関する語彙を習得させることで、当該の問題に関する意識を高める。(第4号)</p>	<p>87~92 ページ</p> <p>92 ページ</p>
<p>Part 2 Communicative Functions for Logical Expression</p>	<p>言語の働き(機能)を念頭におき、様々な場面で相手の存在を意識して、より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</p> <p>発展的な表現活動を行うことにより、自律性を培う。(第2号)</p> <p>対話において、自他の敬愛と協力を重んじる場面を多く設けた。(第3号)</p> <p>家庭内の労働も含め、社会への参画を意識させる題材を採用した。(第3号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>環境に優しい町の取り組みや資源の節約を主題にした教材により、環境保全に寄与する姿勢を養う。(第4号)</p> <p>自分の町を紹介する活動を通じて、自己を育ててくれた社会に対する認識を深める。(第5号)</p> <p>日本と他国、自分と他国の人々との関わりにおいて、国際社会の一員である自覚を促す。(第5号)</p>	<p>93~145 ページ</p> <p>Further Activities (95,97 ページほか)</p> <p>Express It Logically (106,107 ページほか)</p> <p>Dialog (95,97 ページほか) Expressions (94,96 ページほか)</p> <p>108~109, 124~125, 138 ~139 ページ</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>120~121, 136~137 ページ</p> <p>121 ページ 27~29 行</p> <p>122~123 ページ</p>
<p>後付 Useful Expressions</p>	<p>英語で表現するための基本的な知識を、反復練習により定着させる。(第1号)</p>	<p>146~151 ページ</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### I. 教科書の特徴

##### A. 学習しやすい パート別 / 見開き 2 ページ 構成

###### 1. パート別構成

Part 1 で「論理的表現の基礎」を、Part 2 で「言語の働き〔機能〕」\* を習得します。いずれも表現活動に繋げる点を重視した構成となっています。

\* 「言語の働き〔機能〕」とは、「勧誘する」「依頼する」などのことばの働きのことで、これを理解することで、自分が伝えたい内容を的確に表現することが可能となります。例えば、Can you play the violin?〔質問〕 / Can you lend me your bike?〔依頼〕のように、同じ“Can you ～?” という疑問文でも「言語の働き」は異なります。

###### 2. 見開き 2 ページ構成

見開き 2 ページの小ユニットで 1 レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT（簡明な解説・用例）～INTAKE（基礎的な表現練習）～OUTPUT（自己表現活動）の流れをもった、豊富な学習内容を扱っています。

##### B. 理解しやすい パラグラフ・ライティング などの解説 <Express It Logically>

パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションといった、比較的高度な言語活動も、各パートの Express It Logically において無理なく学習することができます。

#### II. 各課の構成

##### A. 正課：表現の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

###### 1. Part 1：英語で論理的に表現するための基礎の習得に主眼を置きました。

- 左ページ：各課で学習すべきポイントを含む用例に簡単な解説を加え、確認のための練習問題を設けました。
- 右ページ：学習事項の定着・活用を図る問題を掲載しました。絵や写真〔状況〕を見て表現する問題や、例にならって自分のことを表現する問題などを設け、基礎表現を段階的に活用させる構成をとりました。
- Let's Use It!：学習事項をさらに活用・定着させる言語活動を掲載しました。使用する場面や伝えようとする内容を意識させたタスクや、リスニングと関連づけたリテリング、ペアワーク・グループワークで「やり取り・発表」を行う表現活動など、多彩な演習を取り入れています。

★Part 1 の L.1～3 は「はじめに」として、英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスンになっています。L.1「英文での主語の明示」、L.2「動詞の意味（日本語との対応）」、L.3「基本的な名詞・冠詞の用法」などを扱っています。

###### 2. Part 2：言語の働き（機能）を意識した、より効果的なコミュニケーションを図る力を育成することに重点を置きました。

- 左ページ：学習内容についてリスニング＋ライティング問題によって導入し、各課で学ぶべき機能的な表現をペアワークによって定着させます。

- b) 右ページ：機能表現を含む Dialog によりディクテーション・ロールプレイングを行い、要約練習としてのリテリングを経た後に、Further Activities でやや発展的なコミュニケーション活動を行います。各課の終わりには、題材に関連するディスカッション・ディベートの設問も用意されています。
- c) Consolidation：各課で学習した機能表現の、一層の定着・活用を図るためのセクションです。右ページの「例文＋解説」によって、それぞれの機能表現に対する理解を深め、左ページの問題演習でそれを用いた表現活動を行います。

## B. 正課以外：Express It Logically など

1. 概ね本課 4 レッスンごとに、Express It Logically という課を設けました。Part 1 では文章（パラグラフ）作成、Part 2 では発表（プレゼンテーション）といった、比較的高度な言語活動について、論理的な構成などの留意点をまとめました。
2. 前後見返しでは“Classroom English”として、授業での使用が想定される基本的な英語表現をまとめました。また、各課の問題演習に関しては、できる限り指示文を英語で表記しています。これらにより、英語による授業が進めやすくなるよう工夫しました。
3. その他の要素に関し：
  - a. 不規則動詞活用表、Speaking・Writing のループリック、辞書活用に関するコラム、Words & Phrases（関連語句のまとめ）、Useful Expressions（重要表現のまとめ）など、表現活動を支える要素を随所に掲載しました。
  - b. 二次元コードからは、本教科書を学習するうえで参考になる情報（主要例文の音声のほか、補充問題・確認用プリント、音読練習ツール〔モデル音声と自分の発音の一致度を判定〕、学習ポイント解説動画）を用意しています。

◆教材配当表 <B5判・152ページ・4色>

Part 1：基礎的表現の習得

Part 2：機能表現の習得

課	タイトル	学習事項	課	タイトル	学習事項
1	はじめに①	「だれが」「～する」をはっきりと	1	School Life	勧誘する, 提案する
2	はじめに②	動詞をうまく使おう	2	School Subjects	依頼する, 理由を聞く・述べる
3	はじめに③	名詞の数などに気をつけよう	3	Free Time	確認する, 訂正する
4	My Friends	～である [ない] ～ですか [しますか]	4	Feeling Well?	心配する, 助言する
5	My Family	～する [している] ～した [していた]	EL 5	情報・考えをまとめてみよう!	
6	Pastime	未来で行うことの表現	5	Housework	義務・必要を述べる
7	My Town	完了・継続・経験の表現	6	The Internet Is Fun	期待・確信を述べる
C	辞書を活用しよう!		7	I've Lost Your Book	謝罪する, 謝罪に応じる
8	Our Teachers	能力・許可・推量 など	8	Planning a Trip	計画する, 予定する
9	Visiting a Museum	必要・義務, 過去についての推量・後悔 など	EL 6	発表の仕方や表現を工夫しよう!	
10	Famous People	～は…に見える/～に…を与える/～を…にする など	9	Exchange Students	程度・結果を述べる
11	Reading	～される [されない] ～に満足している など	10	I Want to Be a ...	願望・目的を述べる
EL 1	短い文章を書いてみよう!		11	Cheer Up Your Friend	同情・共感する, 励ます
12	Studying Abroad	～すること/～する方法/ ～するための	12	Farewell Party	感謝する, 喜ぶ
13	Advice	～するために/～するように頼む/～するのを見る など	EL 7	情報・考えを整理して発表しよう!	
14	Hobbies	～すること など	13	Saving Resources	賛成する, 反対する
15	My Vacation	～している [された] …/～しているのを見る など	14	Social Problems	意見を尋ねる・述べる
EL 2	文のつながりを示す語句を使おう①		EL 8	発表を聞いて, 自分の考えをまとめてみよう!	
16	In a Zoo	同じくらい～ より～ など	EL 9	競技ディベートを行ってみよう!	
17	Our Team	最も~/2倍の~/できるだけ～ など	* Part 1: Let's Use It!, Part 2: Consolidation は, 概ね2課に1か所挿入する形で掲載. * C…Column / EL…Express It Logically * 二次元コードにより, 各課 Review Exercises, 語彙問題 [p. 28], 文法のまとめ・解説動画・文法確認テスト [p. 146] を参考情報として提供. * その他, 授業での発話集 Classroom English [前・後見返し], 不規則動詞活用表 [p. 14], 活動評価のルーブリック [p. 15], Words & Phrases [pp. 87-92], 主要表現まとめ Useful Expressions [pp. 146-151] を収録.		
18	Neighbors	～する人・物/～する人・物 など			
19	Speeches	～すること/～する場所 [時] など			
EL 3	文のつながりを示す語句を使おう②				
20	My Wish	事実と異なる状況の表現			
21	A Birthday Gift	名詞の働きをする節 時・理由・条件の表現			
EL 4	書いた内容を読み返し, 書き直そう				

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-215	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	論 I 104-904	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者の人間として調和のとれた成育に寄与するもので、学習者の実生活に即応したバラエティに富んだ内容（言語材料、言語使用の状況など）を取り揃えた。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、表現活動の指示文は極力英語を用いた。また、より取り組みやすくなるよう、具体的な指示・モデルパターンなどの支援を比較的多く与えた。
- C. 論理的な意見構築や文章構成の基礎となる論理的に正しい文・機能表現の習得が、使用場面や伝達内容を重視した豊富な演習を通じて、確実に行える内容を心がけた。
- D. 事実や意見などについて多様な観点からの考察や表現上の工夫がなされるように、学習者間の相互交流を意識した言語活動を多く設け、学習者が主体的・自律的に授業に関与することが可能な構成とした。

### II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

#### A. Part 1 : Building a Basis for Logical Expression

※正課は以下の見開きページに、Let's Use It! [2 課分をまとめて掲載] を加える形となります。

<左ページ>

##### ① 基本例文・Notes <INPUT>

各課で学ぶべきポイントを含んだ基本的な例文に、簡単な解説を添えています。基本例文には各課で緩やかなストーリー性をもたせています。

##### ② Let's Check It! <INTAKE>

各々の文法事項に対して、確認のための基本問題を設け、ポイントの定着を促します。

<右ページ>

##### ① Activity <INTAKE・OUTPUT>

[A] 日常生活での発話例に則した文で、文法事項を表現に活かす練習を行います。

[B] 図絵の内容を思考・判断し、学習ポイントを適切に活用する演習です。

##### ② Express Yourself! <OUTPUT>

学習ポイントを用いて簡単な自己表現を行い、それをもとに対話・発表する活動です。

<Let's Use It!>

##### ① Tips for Expression <INPUT>

表現のヒントとして、正課の主要例文を再掲し、ポイントを押さえた解説を施しています。

## ② Think and Express! <OUTPUT>

各課の学習事項（文法項目）に関して、コミュニケーションの場面・状況を意識した問題演習で、確認・定着を促しつつ自己表現練習を行います。

## ③ Interact and Produce <OUTPUT>

対話文・スピーチなどの内容をまとめて伝達する練習（リスニング＋リテリング）と、それを参考にしたグループワーク・ペアワークでのやり取り・発表の練習です。

## B. Part 2 : Communicative Functions for Logical Expression

※正課は以下の見開きページに、Consolidation [2課分をまとめて掲載] を加える形となります。  
<左ページ>

### ① Listen and Answer <WARM-UP>

各課で学習する内容（話題）の導入となる簡単なリスニング問題です。対話文などの要点を書きとる「リスニング＋ライティング」の融合問題となっています。

### ② Expressions <INPUT・INTAKE>

機能や場面に応じた表現をモデル文（対話文）により習得し、それを応用する練習です。

<右ページ>

### ① Dialog <INTAKE>

ディクテーションによって、各課で学ぶポイントや、その他の重要表現・語彙を定着させます。また、ロールプレイングによって、コミュニケーションを図る場合の発声練習を行います。

### ② Retelling <OUTPUT>

Dialog の内容を第三者に伝わるように工夫してまとめる練習です。

### ③ Further Activities <OUTPUT>

各課で学習した表現や話題に関して、応用的な言語活動により、実生活での活用事例につなげていき、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

## <Consolidation>

左ページの「例文＋解説」で INPUT を行い、右ページの「[1]確認問題＋[2]イラスト内容の表現問題＋[3]状況に応じた表現活動」による INTAKE, OUTPUT を行う構成となっています。機能表現の一層の定着・活用を図ることが可能です。

**C. Express It Logically** : 各 Part の概ね本課 4 レッスンごとに、以下の内容を設けています。

### 1. パラグラフ・ライティング [Part 1]

パラグラフの構造や展開など、論理的な文章の構築を習得するレッスンです。

※図絵を描写する問題など、学習内容を活用する activity を充実させています。

### 2. プレゼンテーション・ディベート [Part 2]

プレゼンテーションの準備・展開・聞き方などを学習するレッスンです。また、各課での簡単なディベート活動の発展形として、「競技ディベート」の概要を学びます。

**D. その他** : 辞書活用のコラム, Words & Phrases, Classroom English [見返し] など。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	箇所	配当 時数
見返し Classroom English	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II 後見返し IV・V	—
Part 1 Building a Basis For Logical Expression	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと [やり取り] イ 話すこと [発表] ウ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	内容 (1) 本文全般 (6,7,16,17 ページほか) (2), (3)①② Express Yourself! (17,19 ページほか) Let's Use It! (12,13,20,21 ページほか) Express It Logically (42~45 ページほか) 内容の取扱い Express Yourself! (17,19 ページほか) Think and Express! (12,13,20,21 ページほか) Interact and Produce (20,21 ページほか) Express It Logically (42~45 ページほか)	42
付表 Words & Phrases	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	87~92 ページ	—
Part 2 Communicative Functions for Logical Expression	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと [やり取り] イ 話すこと [発表] ウ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	内容 (1) 本文全般 (94,95,98,99 ページほか) (2), (3)①② Listen and Answer (94,96 ページほか) Dialog・Retelling・ Further Activities (95,97 ページほか) Consolidation (99 ページほか) Express It Logically (106,107 ページほか) 内容の取扱い Expressions (94,96 ページほか) Further Activities (95,97 ページほか) Express It Logically (106,107 ページほか)	28
後付 Useful Expressions	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	146~151 ページ	—
		計	70

※配当時間は、各レッスン等に1時間割り当てるものとして計算（考査・発表等含む）。